

エフワールド×インディゴブルー

ボーイズシンクロエンターテイメント活動報告書

平成 23 年 10 月 30 日



【基本情報】

□日時:平成 23 年 10 月 30 日

□場所:あづま総合運動公園室内プール

□参加人数:大人 73 人 子ども 28 人

□活動概要:ボーイズシンクロの方々に復興を目的として福島にお越しいただきました。ライブエンターテイメントチーム、インディゴブルーさんの協力でボーイズシンクロを通して、福島の子どもたちとご家族、ご来場いただいたお客様に、室内プールの中少しでも放射能の影響が少ない場所でライブを見て一緒に盛り上がり楽しんで頂き、笑顔と感動、そして元気を届けました。

□受益者、またその人数:福島県内に住む子どもとご家族 101 名

【活動の背景・目的】

放射能の問題で、家の中に居ざるを得ない状況になっている子どもたちに、思いっきり遊んでいただけの場を提供することを目的として開催致しました。現在福島では原発の放射能問題で、子どもたちの外での活動時間に制限がされています。そんな生活を余儀なくされている子どもたちとそのご家族へ向けて、楽しむことも復興の一環と考え、今回の企画をエフワールドとインディゴブルーさんの協働の上、開催致しました。

【活動の詳細】



まず始めに、お客様に会場に馴染んで頂くために、プールサイドでお客様を巻き込んでのパフォーマンスから始まりました。最初は緊張気味だったお客様も、だんだん笑顔になり、インディゴさんの雰囲気にもまれていきました。

パフォーマンスが進むにつれ会場が一体となり、大人も子どもも笑顔が溢れ、一時でも放射能問題や風評被害など、大震災の被害を忘れて楽しんで頂けたのではないかと思います。盛り上がり頂きました。



クライマックスのシーンでは、拍手喝采でパフォーマンスも終了したかと思いましたが、その後お客様のアンコールの声援で、再びインディゴさんが会場に戻ってきてくれて、ショーを再開してくださいました。



パフォーマンスが終了後、お客様に夢や希望・自分の核となることをカードに記入いただき、ご来場頂いたお客様一人一人に笑顔向け、一緒に記念写真を撮り、お客様は大満足の笑顔で会場を後にしてくれていました。



子どもたちも皆楽しそうで、室内のプールと言うこともあり、実質的に放射能の影響の少ない所で楽しんで頂けたという、大きな活動の成果となりました。外で遊べないという子どもたち、その親御さんのストレスがこのイベントで少しでも軽減されたのではないかと思います。またプール教室に通っている子どもがインディゴブルーさんのパフォーマンスを見て、「楽しかったからやってみたい！」と、シンクロに興味を持つ姿も見受けられました。

【活動の成果】

今回このパフォーマンスを通して、お越しいただいた多くの老若男女の幅広い年齢層の方々に楽しんで頂けたと思います。インディゴブルーパフォーマーの皆さまのさわやかな笑顔とパフォーマンスは観客の方々を巻き込んだとても楽しいライブとなり、大成功を収めることが出来ました。さらにインディゴブルーさん独自の夢と希望企画も一緒に行い、最後は会場いっぱいにお客様の笑顔が溢れ、生活の活力に繋がっていくと感じました。

【今後に向けての課題】

今回は、福島県の皆さまへ事前告知で来場者を募り、現地集合・現地解散という流れの元、告知を行いました。今後のエフワールドの支援活動では、子どもたちを放射能の影響の少ない場所へ連れて行き遊ぶことを目的にしています。その参加人数に限りがあるのが現状です。今回に限ったことではなく、さらに今後支援に関する告知を、どのようにどの範囲まで行っていくかの検討が必要です。

全ての子どもを、県外に連れて行く支援活動には限界があります。また、学校や教育委員会を通すなどと広範囲への募集をかけてしまうのも選考方法として懸念が残ります。しかしながら一人でも多くの子どもたちへ、平等で広範囲の支援を目的とし、継続的な支援にあたっていきたいと考えます。